

# 誠策で勝つ

民主党・船橋市議会議員

## さいとう 誠

〒273-0021 船橋市海神4-22-12

TEL・FAX 047-431-1717

E-mail [seisaku@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:seisaku@jasmine.ocn.ne.jp)

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~seisaku/>



## 所信表明質疑①

8月2日、臨時議会最終日、民主党会派を代表し、松戸徹新市長の所信表明に対する質疑を行いました。

所信表明を中心にしながら、市政執行にあたり重要な課題、市長公約の内容を織り交ぜながら、質疑をさせていただきました。

### 1. 子育て支援政策について。

子ども・子育て新システムの施行は、平成27年4月の予定ですが、待機児童ゼロは喫緊の課題です。

認定こども園のうち、保育所型認定こども園では、株式会社参入が認められることとなりますが、株式会社参入については、保育所運営されている現場の皆様から、保育士の青田買いによる保育士不足、保育士を長期的に育てていく発想に欠け、保育士の質が向上しないなどの指摘が出ています。

待機児童ゼロを目指すためには、

株式会社参入もやむを得ないという発想も理解できなくはありませんが、こうした現場の指摘を考えると、株式会社参入を手放しでは喜べません。

保育の質は、良質かつ適切なものでなければならないという法の理念を考慮して、株式会社参入については、慎重にご判断いただき、社会福祉法人や学校法人などを積極的に支援し、待機児童ゼロを目指していくことを求めました。

また、放課後ルームにおいても、待機児童問題は深刻です。

児童福祉法改正により、放課後ルームの入所基準が3年生から6年生に引きあがります。

また、市内では、放課後ルーム待機児童が発生している箇所がありますが、共働き世帯が増加傾向にあること、マンション建設が増加し、小学生を扶養している世帯が増加している

## 無料法律相談どうぞ

下記の通り、ご案内しますので、お気軽にご相談ください。

記

日時 2013年9月21日(土)  
午後1時から4時まで

場所 堀江 はつ  
千葉県議会議員事務所  
西船2-27-23

窓口 さいとう 誠まで。

Tel 047-431-1717

尚、相談時間はお1人様30分とさせていただきます。(予約制です)

緊急の場合、日時について調整させていただきます。

場所は、千葉市中央区の弁護士事務所になります。

## なんでも労働相談

経済不況の最中、雇用契約の更新がされなかったり、途中で雇用契約解除がされるという相談が増えています。

連合千葉総武地域協議会では、給与・残業代不払い、休暇、労働時間、解雇、退職金、労働災害、労災・雇用保険などに関して、無料労働相談を受けています。

お困りの方は、ご相談ください。

記

日時 9月20日(金)10時～16時  
場所 船橋市勤労市民センター  
連絡先 047-401-8126

## 活動日誌

- 6月 5日 第2回定例会開会。  
民主党会派を代表し、議案質疑を行う。
- 8日 船橋中学校区ソフトボール体  
会に西海神小めだかの会と  
して参加。
- 9日 海神駅バリアフリー記念式典  
に出席。民主党街宣活動。
- 13日 第2回定例会閉会。通夜参列
- 15日 海神商店会総会出席。
- 16～22日 船橋市長選挙告示。  
松戸徹候補出陣式に出席。  
選挙カー同乗。朝夕の街頭演  
説活動に参加。
- 23日 投票日。松戸徹新市長誕生。
- 29日 西海神小バザー準備。早朝、  
めだかの会でザリガニ釣り。
- 30日 西海神小バザー。  
民主党街宣活動に参加。
- 7月 1日 浅間神社祭警備手伝い。
- 4日 参議院議員選挙公示。  
ポスター貼り。街宣活動。
- 5日 市立船橋高校訪問。
- 6日 都立青山高校ラグビー部の  
仲間と暑気払い。
- 11日 文教委員会視察。
- 12日 船橋警察署訪問。
- 13日 慶応大学船橋三田会主催  
サイエンスカフェに参加。
- 18日 教育長・藤代市長表敬訪問。
- 19日 吉川さおり候補応援。
- 21日 長浜博行・吉川さおり当選。

## 所信表明質疑②

こと、学区の変更などが要因と言われています。

市は、新1年生の入学の動向、ルームの利用率などから、ルーム利用者の推計をしていますが、年度当初や年度途中で、ルーム定員の120%に達した場合には、次年度の新ルーム設置に向け、補正予算を組む姿勢が市長には求められます。

放課後ルーム待機児童発生が予測される場合、待機児童が発生してからではなく、発生する前に、新ルーム設置を推進させるという危機管理意識を持ち、待機児童ゼロを目指していくことを求めました。

児童相談所の設置についてです。

児童虐待が問題視される状況下で、中核市の中で、最大の人口規模である本市に、児童相談所が設置されていないのは、あまりに不自然であると考えています。

児童相談所設置にあたり、具体的な候補地が必要であります。県と等価交換予定の南船橋駅前の県企業庁所有地を有効活用いただき、是非、児童相談所を設置していただくことを求めました。

2. 高齢者福祉施策について。

地域包括ケアシステムの充実について、本市では、現在、75歳以上の高齢者が約4万人おりますが、10年

後には、約8万人に倍増することが予測されています。

医療・介護分野専門家によれば、体調を崩し医療機関に入院したくても空きベッドがなく、入院できない時代が来ることが指摘されてます。

また、国の社会保障国民会議では、要支援サービスを介護保険の対象から市町村の独自事業に移すことを考えています。

以上から、在宅で、医療・看護・介護・生活支援サービスを受けられる体制を船橋市で構築しなくてはなりません。しかし、懸念があります。

現在、市又は福祉サービス公社で実施されている生活・介護支援サポーター事業・緊急一時支援事業では、利用料が1時間500円、軽度生活支援員派遣事業では、利用料が1時間400円となっています。

所謂、日常生活支援事業ですが、要支援サービスが介護保険対象外となれば、市・公社で実施している日常生活支援事業の利用者は急激に増加することが予測され、市・公社の事業だけでは、利用者のニーズに応えられないと考えます。

そうなると、民間事業者の参入を促す必要があります。

しかし、現在の利用料では、民間事業者は日常生活支援事業を運営

## 所信表明質疑③

していくことは、想像できません。

市長には、現在の市・公社の事業の利用料を見直して、民間事業者の参入を促し、24時間、包括ケアができる体制をつくることを求めました。

### 3. 西部地区の諸問題について。

旭テクノグラス中山事業所閉鎖問題については、平成24年1定・3定・4定で取り上げていますが、解体処理後の跡地利用が、気掛かりです。

本会議でのやり取りの中で、昨年10月に旭テクノグラス社長宛て、「西部地区における小中学校の不足は喫緊の課題であるため、市として、跡地については公共施設用地として譲渡を要望したい」という主旨の要望書を提出したと答弁がありました。

そして、本年3月に旭テクノグラスから「解体後の取り扱いは未定。取り扱いを検討する際には、民間企業として様々な選択肢について経済原則を基盤に検討し、ご了承を賜りたい」という主旨の回答がありました。

この回答内容は、たいへん不本意なものです。

経済原則を基盤に検討するとは、会社の利益のみを考え、急激な人口増により、小中学校の受け入れ不足を全く考慮せず、その他、交通渋滞、交通ルール違反、空き巣などの犯罪増加の恐れなど、周辺環境へ

の悪影響を全く考慮していないと指摘せざるをえず、了承できません。

また、旭テクノグラス閉鎖問題だけでなく、行田の国家公務員宿舎も売却が予定されており、もし、当該地に、マンションが建設されるようなことになれば、同様に周辺環境への悪影響が大いに懸念されます。

旭テクノグラス閉鎖問題かつ、国家公務員宿舎売却問題など、西部地区の諸問題、特に、教育環境の充実のため、小中学校の受け入れ不足についての思いを共有していただき、市が当該地を取得することを目指していただくことを求めました。

### 4. 美術館建設構想について。

平成11年、市民に開放してほしいという願いから、清川家のご好意で、土地、建物、美術品・コレクション184品の寄贈を受けたわけですから、その意志は必ず反映させなければならないと考えます。

藤代前市長は、美術館建設構想に向け、前向きな姿勢を持っていましたが、後継者である松戸新市長におかれましても、市長に就任されましたからには、副市長時代とは違い、政治家として、美術館建設に向け、もう一步、踏み込んだ答弁をしていただくよう求めました。

(来月号に続く)